

公表

事業所における自己評価結果(児童発達支援)

事業所名	Sun Kids		公表日 2025年 3月 25日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	活動スペースと個々の休息スペースを設けている。	活動内容により、スペースを確保していく
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	子ども達が安全に過ごせる職員が配置できている。	利用児数や児の状態に合わせた職員配置を継続
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障がいの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	バリアフリーになっており、トイレ等も広く使いやすくなっている。壁の飾り等も、毎月替えることで、季節の変化を感じられている。	転倒時のけが予防の為にクッションマット使用中。段差がある為注意が必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	活動時間によって、BGMを変えている。子ども達が過ごす場所はクッションフロアで電気コード等も束ね安全面に配慮されている。利用後に清掃している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	クールダウンや切り替えの為に使用出来ている。個別に必要な合わせて、個別の部屋を用意できている。必要に応じて、個別の部屋を使用できている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	ヒヤリハットはスタッフ全員へ伝達し、改善対策を話し合い共有している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	保護者の意見をもとに職員で、意見交換を行い業務改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	朝のミーティングで「何か困ったことがないか」等、話しやすい環境を設けており改善につなげている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	6	事業所として、第3者評価を行っていない。	今後検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	外部研修、内部研修等とともに開催、参加し職員の資質向上を図っている。外部研修を受ける際、会社から支援あり。受講しやすい環境がある。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	5領域に関連した支援プログラムを作成。R7年3月より公表している。	支援プログラムの内容が個々の個別支援計画につながるよう作成していく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	子どもの特性やニーズを把握し日常生活の状況に関するアセスメントをもとに支援計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	多職種連携を生かして、意見交換を行い、こどもにとって、一番良いことを考慮し検討している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	個々の支援計画を共有し、計画に沿って、最善の支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2	子どもの意見を尊重し、本人の能力や興味関心を把握するだけでなく、フォーマルアセスメントを組み合わせ情報を確認している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	個々の利用児に合わせて要望をもとに支援計画立案している。	アセスメントシートをかつようして、発達に合わせて計画を立案する。

援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	保育士を中心に話し合い、活動を行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	分担して活動の担当を分け、固定化しないようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	個別での制作や集団での音遊び、ゲームなど工夫して支援が行われている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	朝礼・朝の会で情報共有や打ち合わせを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	終了後ではないが、午睡中などに振り返りや、その都度気付いた点を共有している。状況でできなかった時は後日実施している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	日々の支援や児の様子等は記録に残し改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	6ヶ月毎に見直しを行っている。必要時はさらに短期間で見直しを実施。	
	関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	装具やバギー等の作製に関する会議はPTが、サービス担当者会議は管理者が対応している。
25		地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	地域の保健、医療、障害福祉保育、教育等と連携している。	
26		併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	併行利用の事業所や保育所との支援内容の情報共有を行っている。	
27		就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2	関係機関が集まって支援内容や活動方法など情報共有を行っている。学校間での情報共有は少ないが連絡帳や家族を通して、確認している。	
28		(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障がい児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
29		質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30		(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31		(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	0	療育センターと連携して助言を得ている。	
32		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	0	直接的な保育所との交流はないが、地域の公民館など、イベントがあるときに参加し、交流している。	
33		日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	送迎時や、家族交流会で保護者と伝えあっている。連絡ツール使用し、共通理解が出来る。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3	家族と情報共有し、必要時支援方法についての相談を受けたり助言・指導を行っている。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時に行っている。		

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	日頃から連絡ツールで家族の意向を確認できる状況。支援計画は保護者の意向も考慮し作成している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	保護者へ直接説明し同意のサインをもらっている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	相談等あった場合、助言対応を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0	家族交流会、クリスマス会、餅つき等保護者に参加してもらい、家族同士で交流する機会をもうけている。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	対応できている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	定期的におたよりを発行している。Instagramに投稿し、活動の様子やイベントなどを発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	十分に留意している。	
	43	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	選択しやすい問いかけや表情などの表出をくみ取っている。声掛けだけでなく視覚的なもの(絵カード)などを用いている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0	地域コミュニティや地域イベントに参加している。地域交流としてのイベントを開催している。	引き続き地域住民に開かれたイベントを開催する。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	それぞれのマニュアルを作成し、月に1度のペースで、火災・洪水・地震・防犯等の訓練を行っている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	BCP策定済。定期的に訓練を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	服薬依頼表にて服薬、てんかん発作時薬剤を確認し、薬の変更の際はすぐに持参してもらう。感染症一覧表にて予防接種状況を把握。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	保護者持参による昼食なので、対応はされている。クッキング作りの際、アレルギーの子どもは保護者に確認し行っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	安全に十分配慮して、支援している。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	おたより等で周知している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	ヒヤリハット事例を共有し、必ず話合うようにしている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	勉強会を実施している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	現在身体拘束が必要な見はない。身体拘束の勉強会を実施している。	身体拘束が必要な場合、家族への十分な説明と同意を行い、安全に配慮して計画に基づいて行う。